

### オープンイノベーションによる研究の推進

企業などが保有する技術(シーズ)が、阪神高速グループが抱える課題(ニーズ)に対応するか、あるいは相互の技術融合により新たな価値が生まれるかを議論(コミュニケーション)したうえで、有意義な成果が期待される場合に共同研究を行うための「コミュニケーション型共同研究公募相談会」を春と秋の年2回実施しています。2021年からは試験施工のみの応募も受け付けています。阪神高速グループが求める新たな技術はホームページでも公開しています。これまでにコミュニケーション型共同研究により新たに開発し、実用化した技術には、大規模更新事業などに適用し、特許の取得や各種技術賞などを受賞しているものもあります。

今後もニーズへの適用性の検討やニーズに応じたさらなる研究開発と実用化に向けた実装、試作、試験施工などに取り組んでいきます。



コミュニケーション型共同研究公募相談会の様子

PICK UP

#### 「新技術の募集」

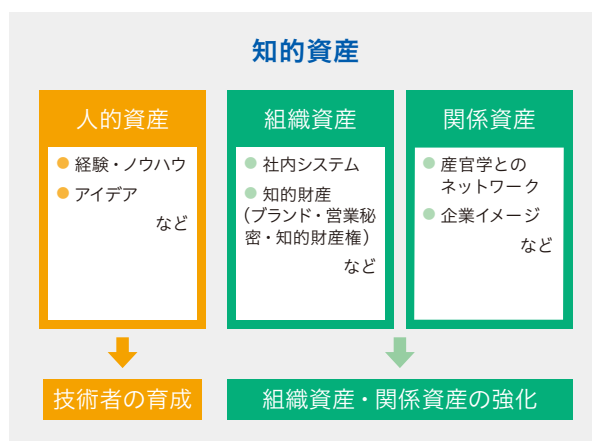
ホームページ「新技術の募集」は、新たな価値を創造する新しい技術を公募するサイトです。



詳しくはコチラ

### 組織資産・関係資産の強化

阪神高速グループでは、業務の変革や新たな価値の創造を推進していくために、企業競争力の源泉となる特許などの知的財産や社内システム・データベースなどの知的資産の確保・利活用について、戦略的な取り組みを進めています。そのうち、組織資産の強化については、現場に密着した実用的な知財取得の検討や、自社の強みを発揮できる重要組織資産を抽出し、社内システムに限らず、例えば阪神・淡路大震災の被災経験の継承や都市内高速道路におけるリニューアル工事のマネジメントなど、これまでの都市高速道路運営に係るスキルやノウハウも含めて、保護・強化に取り組んでいます。また、関係資産の強化についても、外部関係者との交流機会へ積極的に参加するなど、道路事業や関連事業を通じて、良好なネットワークを構築・維持できるよう、信頼関係の構築に努めています。



PICK UP

#### 「技術のチカラ」

ホームページ「阪神高速 技術のチカラ」は、建設技術・維持管理・情報システム・耐震対策など、技術者の視点から阪神高速の技術を紹介するサイトです。



詳しくはコチラ